

第2回 食品安全文化の可視化に関する研究会 【ブラッシュアップチーム】 議事概要

日時：2025年9月10日（水）

場所：中央合同庁舎第4号館／オンライン（Teams）

次第

1. 開会（進め方・接続案内）
2. 情報共有（第1期の振り返り／第2期の目的・体制）
3. 意見交換（分科会：ブラッシュアップ／ガイダンス → 全体共有・普及方策）
4. 閉会（事務連絡）

意見交換（分科会の要点）

ブラッシュアップチーム：論点と合意

- **項目数**：37→25をベースに検討。ただし、
 - 6因子と設問項目の相関係数のしきい値が0.45未満で自動削除ではなく、**「救済（残置）」**の余地を認める（例：経営層のコミットメント、目標とKPIの同等評価、社内外への発信、ライン停止で責められない等、**階層ギャップの可視化に有効な設問**）。
 - 最終項目数は**25前後（～30程度まで許容）**とし、**統計妥当性×現場有用性**の両立を図る。
- **因子（大分類）の再命名**：
 - 現行の大分類（例：人／ビジョン・ミッション／適応力／リスク認知／一貫性 等）と、実データ上のまとまりに**ズレ**がある。
 - 設問群の実態を見直し、**現場で意味が通る日本語**に再設計。**次回までに命名案**を提示し、早期確定を目指す。
- **削除候補の考え方**：
 - GMP/GHP等の**当たり前の遵守確認で常時高得点**・差が出にくい設問は削除候補。
 - 一方、**階層差・組織差が出る設問**は改善起点になるため優先的に残す。
- **翻訳**：項目確定後に一括で更新。

以上